

2025 東北大学（前期）数学（文系）概評

出題分析			
試験時間	100 分	配点	200 ～ 300 点
		大問数	4 題
分量（昨年比較）	[減少] 同程度 増加]	難易度変化（昨年比較）	[易化] 同程度 難化]
<p>【概評】</p> <p>昨年が難しかった反動か、全体的には分量が減り、内容も易しくなった。</p> <p>そうは言っても、論証の正確性や計算力は試されるセットである。</p> <p>① ②(1)(2)を確保して、全体で 65% 以上とれていれば合格が見えてくるだろう。</p> <p>①と②は理系と共通問題。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
1	確率、整数 ・ 反復試行の確率 ・ 論証	硬貨とさいころを投げて動く数直線上の点 P が原点に戻る確率を求める問題。基本的な「反復試行の確率」なので確実に得点したい。(3)の答えは予想できるだろうが、整数の論証を正しくできるかで差がつきやすい。 なお、問題文の補足説明が配布されている。	やや易
2	数列、対数関数 ・ 連立漸化式 ・ 対数の計算	連立漸化式の一般項を求める問題。与えられた漸化式の両辺の対数（底は 2）をとり、等比型の漸化式を作る。計算ミスに注意して確実に得点したい。	やや易
3	空間ベクトル ・ ベクトルの計算 ・ 交点 ・ 線分の長さ	四面体をなす 3 ベクトルを用いて計算し、交点や線分の長さを求める問題。(1)は底面積比に注意して体積を求める問題であるが、これが分からなくても以降の解答には影響がない。(2)～ は基本的な典型問題なので確実に得点したい。	標準
4	積分法 ・ 面積	3 次関数のグラフと 2 次関数のグラフで囲まれる 2 つの部分の面積が等しくなる条件を考える問題。原点以外の交点の x 座標を文字でおいて面積計算をするのがよいだろう。 類題の経験の有無で大きく差がついたと思われる。	やや難

合格のための学習法

例年「確率（場合の数）」「微積」の出題があり、題意の正確な読み取りとパワフルな計算力が試される。また、近年は図形に関する内容（純粋幾何、ベクトル、座標）が頻出で、言葉で表された条件を数式化したり、逆に数式から図を把握する力が試される。

典型問題の解法暗記だけでなく、初めて見るような問題に対しても深く考える練習をし、また日々の演習でも最後まで解き切ることで計算力を鍛えるべきである。

もちろん、どの分野から出題されても大丈夫なように、各分野の基礎事項・定義の理解、正しい論証、を意識して日頃から勉強してほしい。